

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月10日(月)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 白井久・鳥越、小池、尾山、吉田、榎原、服部 (常勤)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	4人	10人	人	1人	15人

前回の改善計画
①新規利用者や訴えの少ない方とのかかわりを増やし、一日1回以上の言葉かけを継続し、入浴や機能訓練など個別のかかわりを大切にしながら関係を深める。 ②送迎時ご家族に対し、一日の様子を伝え介護上の不安や心配事を聞き取るなど信頼関係の構築に努める。ご家族不在の方には、メモやメールを活用していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
①一日1回声かけし、関係作りをした。入浴や送迎時等個別に時間を大切にながら、関係作りをした。急な登録のため、利用前の情報収集が、十分に出来ていない事があった。 ②送迎時に会えない家族に対しては、連絡帳のほかに、メモやメールの活用で、連携強化努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6	8	1	0	15
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	5	10	0	0	15
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	7	7	0	1	15
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	6	8	1	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・声かけによりコミュニケーションとっている・ニーズや不安を聞き対応している。 ・本人が慣れていない時が重要と考えている、本人だけでなく、家族へも労いの言葉をかけている。 ・利用者同士の関係性も考慮し、席の配置をした。 ・その方の体調や状況に応じ、声のトーンや話すスピードを調整し、今後の関係性も考慮し対応した。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・ご家族との直接的な関わりが少なく、十分な対応ができない。 ・家庭の事情で、ミーティングへ参加できていない。 ・勤務当日の役割分担に応じ、利用者との関りが少ない日がある。 ・本人の情報など、利用開始前に共有できなかった。・忙しい家族は連携が図りづらい方もいる。 ・機能訓練が進まない、一人一人の時間配分が難しい。 ・本人を支えるには、実際どうしたら良いかを考えた、発信ができていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	①新規利用者や訴えの少ない方との関わりを増やし、出勤後一日1回以上の声かけを継続し、入浴や機能訓練など個別の関わりを大切に、職員が手の空いている時間に利用者とのコミュニケーションを増やし、関係を深める ②送迎時、ご家族に対し、一日の様子を伝え介護上の不安や心配事を聞き取るなど信頼関係の構築に努める。ご家族不在の方には、メモやメールを活用していく

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月10日(月)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 白井久・鳥越、小池、尾山、吉田、槇原、服部(常勤)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	11	1	1	15

前回の改善計画	
①体力測定を4月と10月で実施、機能訓練の向上につなげる、取り組みやすいよう、体力測定は月企画として実施する。 ②担当者が看護師と相談し、メニューの更新を随時行い、機能訓練を生活に即した内容で個別化していく。会議を活用し、メニュー更新を発信していく。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
①個別機能訓練へ取り組んだが、実施者に偏りがあった。体力測定は看護が中心に実施できた。 ②機能訓練のメニュー更新できず、マンネリ化していたままになっている。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1	7	5	0	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	8	4	0	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	6	6	0	13
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	5	7	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・看護師中心に4月の体力測定を実施できた。 ・個別の機能訓練が実施できるよう努めた。 ・ミーティングを利用し状態把握に努め、改善できる事は勧めている。 ・会議で決定した内容を実行、振り返りを行い、次につなげている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・個別機能訓練の実施者に偏りがある。その人に必要な個別訓練を向き合えていない。 ・個別的な日々のかかわりが不足している。利用者の目標は分かっていない。 ・機能訓練の重要性の認識に欠けている、できる時間も他の業務に充てていた。 ・集団での体操は出来ているが、個別機能訓練ができていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①体力測定を4月10月で実施、機能訓練の向上につなげる、取り組みやすいよう、体力測定は月企画として実施する ②天気や気温のいい日は時間を問わず気分転換を兼ねて屋外での機能訓練を行う	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月10日(月)

3. 日常生活の支援

メンバー 白井久・鳥越、小池、尾山、吉田、横原、服部(常勤)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	9	1	1	15

前回の改善計画

①1冊にまとめたフェースシートを作成する(管理者)内容更新は担当職員が行う。変更点は会議で発信職員間での情報共有に努める。
②送迎や訪問、メールやメモを活用し、ご本人・ご家族状況について情報収集し、課題解決に向け取り組んで行く

前回の改善計画に対する取組み結果

①一冊にまとめたファイルは作成し、変更点を更新できた職員と、できない職員がいた。会議内で、担当者から、状態報告等の発信は出来た。
②訪問時はメモを活用、連絡がとりづらい家族とはメールを使用して、連携強化した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	3	9	1	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	9	2	0	15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	9	3	1	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	7	6	2	0	15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	12	2	0	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・個々の特性、性格を把握したうえで、声かけや聞き取りをしている。
- ・本人の状態に合わせた、入浴・排泄・食事の基本的な以後は出来ている。
- ・体調変化については、都度申し送りをし、職員間でも共有できた。
- ・会議での意見交換ができ、それに応じた対応をしている。
- ・本人の声にならない気持ちを言語化して支援している。チームケア出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・以前の暮らしではなく、今の状態しか、情報収集していない。・情報共有が上手く行かない家族もある。
- ・以前の暮らしが把握出来ていない。・本人の声にならない声を言語化出来ていない。
- ・過剰介護になっている職員もいる。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

①1冊にまとめたフェースシートを作成する 内容更新は担当職員が行い。変更点は会議で報告する。
②送迎や訪問、メールやメモを活用し、ご本人、ご家族状況について情報収集し、問題解決に取り組んでいく。
③本人の状態に合わせ、過剰介護にならないよう声かけし、本人のレベルを落とさないようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月10日(月)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 白井久・鳥越、小池、尾山、吉田、槇原、服部(常勤)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	9	4	1	15

前回の改善計画	
①本人や家族の希望を個々に聞き取り、年一回の誕生日に個別性を持たせていく。 ②感染対策をした中、地域資源を活用した外出企画を継続する。 ③日々の活動に地域への散歩を継続して行い、地域住民への挨拶や地域住民への挨拶や声かけを積極的ににし、交流機会を増やす。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
①重度の方が増え、外出がし辛い等、誕生日の個別化ができていない。 ②感染対策をして、地域への外出は行った。一方で、気候の変化もあり酷暑のため、外出出来ない月が増えた。 ③天気や気候のいい日は施設周辺や駐車場内散歩した。出会った地域住民との挨拶や声かけは、率先して行った。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	8	5	0	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	11	1	0	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	9	4	0	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	3	9	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・以前の暮らしは、家族の情報をもとに理解している。又、入院先などからの情報提供受けている。 ・以前の暮らしは会議などでも、聞き取り情報共有している。 ・地域資源活用した外出を行い、施設周辺の散歩では、地域住民へのあいさつや声かけで、交流している。 ・外出、外食や、地域の祭りなどで交流している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源活用した外出企画を、自分では行えていない。 ・自宅での様子を、十分に把握できていない。 ・利用者の重度化もあり、安全に外出できる人も減っている。 ・日々変化のある人への関わりが増えてしまい、変化が無く、落ち着いている方への声かけが少なかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①本人や家族の希望を個々に聞き取り、年1回の誕生日に外出等も含め個別性を持たせる ②感染対策をした中、地域資源を活用した外出企画を継続する(遠出も随時検討する) ③日々の活動に、地域への散歩を継続して行い、地域住民への挨拶や声かけを積極的にし交流機会を増やす	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月10日(月)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 白井久・鳥越、小池、尾山、吉田、槇原、服部(常勤)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	10	1	1	15

前回の改善計画

①今後も、利用者の変化を見逃さないよう体調確認を行い、通院支援含め、臨機応変に対応できるよう心がける。

②インカムを活用して互いに声をかけあい、入力もれをなくし、利用者についての情報共有を図る

前回の改善計画に対する取組み結果

①チームケアで対応、サービスは臨機応変に変更している。自施設だけでなく、他事業所とも連携した。」

②インカムを活用した申し送りは継続したが、時々インカムを忘れてしまうことや、入力漏れもあった。記録は夜勤者が確認を行い、記録漏れを予防した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	9	3	1	15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	6	2	0	15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	7	6	1	1	15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	8	5	2	0	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・地域資源活用した、外出ができた。
- ・本人の変化に対し、会議や、連絡帳を通じ把握している。
- ・新規の方の対応方法など、他の職員のアドバイスを受けている。
- ・生活習慣が整うよう、体調確認をしている。
- ・自分達事業所だけで支えようとせず、地域資源を活用して支援を行っている。
- ・チームケア、報・連・相を重視している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ミーティングへ参加できていない為、共有ができない。
- ・利用者の体調変化にうまく対応できなかった。
- ・外部ボランティアを現時点では呼べていない。地域イベントへの参加が不足している。
- ・利用者の体調を考慮して、施設で過ごす方が安心と考えても、家族の意向や在宅サービスのため、帰宅し体調を崩すこともあった。・利用者に見合った支援ができていない事もある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

①今後も利用者の変化を見逃さないよう体調確認を行い、通院支援含め、臨機応変に対応できるよう心掛ける

②インカムを活用して、利用者様の行動に対し互いに声をかけあい、入力もれをなくし、利用者について情報共有を図る

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月10日(月)

6. 連携・協働

メンバー 白井久・鳥越、小池、尾山、吉田、榎原、服部(常勤)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか 出来ている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	9	1	2	15

前回の改善計画
①前回同様、職員間で協力しながら、担当者会議へ多職種の職員が参加できるよう努めていく。 ②今後も、地域への外出・地域行事への参加・わだカフェを継続し、地域連携を深める。
前回の改善計画に対する取組み結果
①医療カンファレンス、担当者会議への職員参加でき、情報収集に役立った。 ②地域の祭りや、地域への外出も出来た。自治会や町内会への参加はできていない。コロナ5類となったが、影響もあり、職員の思考も以前のもままで、新しい発想に至っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	5	1	18	15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	0	3	12	15
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	3	4	8	15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	3	5	7	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・医療カンファレンス、担当者会議へ参加し、利用者情報収集に努めた。 ・感染症対策の下、外出企画を立てている。 ・わだカフェ、来客者への話題提供できた。 ・プロジェクトや企画の内容により、地域との関わりある。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・地域のイベントや団体活動への参加できていない。 ・他の事業所を訪問する機会がない。 ・自治会、町内会のイベントの参加は少ない。 ・わだカフェ継続しているが、来客は少ない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	①職員間で協力しながら、担当者会議へ多職種の職員が参加できるよう努めていく ②今後も地域への外出・地域行事への参加・わだカフェを継続し、地域連携を深める

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月10日(月)

7. 運営

メンバー 白井久・鳥越、小池、尾山、吉田、横原、服部(常勤)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	8	6	1	15

前回の改善計画	
①今後も、会議前の検討課題提出を継続し、自らの意見を発信できるようにする。事前提出することで、会議時間の短縮につなげていく。 ②施設敷地内を通常する地域住民との交流を深め、ブログやインスタも活用しながら、地域へわだの里が周知されるよう努めていく。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
①会議前に検討課題を出し自分の意見発信し、時短につなげる事は出来た。 ②敷地内を通る住民へ明るく挨拶は行っている。ブログやインスタも行っているが、業務に追われ滞りがちだった。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	1	6	7	1	15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	9	2	1	15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	3	7	4	15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	3	6	5	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域からの苦情はない。報告・連絡・相談は出来ている。 ・職員の立場として、外部の方に事業所のメリットを話す機会はある。敷地を通る方に挨拶をしている。 ・直接かかわっている利用者の声を聴き、支援に生かしている。 ・利用者や家族からの意見はきちんと聞き取り、運営に反映している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の在り方についての話は出来ていない・管理、運営に関しては、立場的に意見を言い辛い ・わだカフェのポスターを見ている方には、声かけをして来所につながっているが、タイミング的に挨拶程度で終わっている事も多い。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①会議前の検討課題提出を継続し、自ら意見を発信できるようにする。事前提出することで、会議時間の短縮に努めていく ②細切敷地内を通行する地域住民と交流を深め、ブログやインスタも活用しながら、地域へわだの里が周知されるよう努めていく ③会議内で事業所の在り方や、管理、運営に関する議題を入れ、職員間で話合う機会を作る	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月10日(月)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 白井久・鳥越、小池、尾山、吉田、榎原、服部(常勤)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	10	0	1	15

前回の改善計画	
①前回同様に、ヒヤリハットと業務改善提案メモを業務中携帯し、気がついた時点で直ぐ記入できるようにする(他の職員とも相談することで互いに意識付けをする) ②報告書のNEO(法人グループウェア)回覧を続けることで情報共有ができる環境とする ③インカムを活用した申し送りで、理念や多機能目標を唱和し、職員への意識付けを継続する。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
①ヒヤリハットは少ない、出せていない。その代わりではないが、申し送りの活用で、伝えるべきことを伝え支援に生かした。 ②NEOに申し送りノートアップロードは継続し、情報収取に役立った。プロジェクトの相談も行えた。 ③インカムは以前より活用できるようになり、理念の共有はできた。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	4	9	0	2	15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	4	5	5	15
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	3	11	15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	9	5	1	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 職場内研修に取り組んでいる、スキルアップにつなげている インカム活用して申し送りで、職員間での情報共有、理念の共有できた。 月1回の市悦内法定研修受けている NEOの活用で、プロジェクトの相談行えた。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 職場外の研修参加ができていない 資格取得、スキルアップできていない リスクマネジメントへの取り組みが不十分 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①ヒヤリハットと、業務改善提案メモを業務中携帯し、気がついた時点で直ぐに記入できるようにする ②報告書のNEO回覧を続けることで、情報共有ができる環境にする ③インカムを活用した申し送りで、理念や多機能目標を唱和し、職員への意識付けを継続する ④ICTを活用し、利用者の見守りや体調変化への気付き、業務の効率化が図れるようにする	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月10日(月)

9. 人権・プライバシー

メンバー 白井久・鳥越、小池、尾山、吉田、横原、服部(常勤)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	10	1	1	15

前回の改善計画	
①前回同様に、自分に置きかえプライバシーの配慮を充分に行ったうえで、職員への申し送りは時間短縮して行い、利用者へ向き合う時間を増やす。	
②利用者の行動制限とならないよう、プライバシーに配慮気を付けながら、インカムを有効活用する	

前回の改善計画に対する取組み結果	
①インカム活用した申し送りで、時間短縮できている。	
②インカムを活用して、利用者を待たせないようなスムーズな対応は行えた。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	13	2	0	0	15
②	虐待は行われていない	14	1	0	0	15
③	プライバシーが守られている	7	8	0	0	15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	2	5	3	15
⑤	適正な個人情報の管理ができている	9	6	0	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・身体拘束や虐待はしていない。・プライバシー守られている。・情報管理適正に行えている。・インカムの活用で、業務の時間短縮につながり、利用者への声かけが増えた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・成年後見人制度が必要な人がいない。・プライバシー配慮しているが、完璧かは不安・プライバシーに配慮しているが、利用者の傍らで話をする事もあり、内容によっては重要な話もあるため、プライバシーの配慮に不安もある。・15時。夜勤と職員1名対、多数の利用者となるため、多動な方への対応を工夫しているが、不安もある。・泊りが多いと、一人一人しっかり対応できているか、不安がある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	①自分に置き換えプライバシーの配慮を十分に行ったうえで、職員への申し送りは時間短縮して行い、利用者へ向き合う時間を増やす
	②利用者の行動制限とならないよう、プライバシーへの配慮に気をつけながら、インカムを有効活用する
	③職員の立ち振る舞いを振り返る機会を設け、職員間でプライバシーが守られているかチェックしあい、利用者の人権やプライバシーへ配慮できる取り組みをしていく

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人慈照会	代表者	田邊寿
事業所名	小規模多機能型居宅介護わだの里	管理者	服部倫子
出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体
	1人	0人	0人
法人・事業所の特徴		利用者	利用者家族
おお客様の個性を重視しサービスの組み合わせをしています。施設滞在時間は、家庭的な環境で過ごし、地域資源を活用し地域への外出し、地域住民との交流機会を持つて頂いています。体調に応じ随時サービスの調整を行い、家族と連携を図り早期に医療へ繋げるよう努めています。高齢者支援窓口の役割を担い、ご利用者以外の地域高齢者の支援を行っています。		地域包括支援センター	近隣事業所
		0人	1人
		0人	0人
		2人	0人
		0人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	基本的な感染対策を維持しながら、外部の状況を踏まえ、わだカフエ・外出・外食等へ取り組んでいく	・感染症への取り組みは継続している。 ・運営推進会議の中で、外出や外食への取り組みは説明を受けている。取り組んでいると思う。	・活動状況は、運営推進会議の時に、写真を見ている、様々な活動に取り組んでいることが伝わってくる。	基本的な感染対策を踏まえ、わだカフエ・外出・外食への取り組みを継続する。 ・SNS やのぼりを活用し地域へわだカフエを周知させていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）を継続し、施設内に不要なものが置かれていない環境を維持していく。	・職員教育は出来ている ・施設内、整理整頓されている。不要なものは置かれていない。	・職員皆マスタクをしているため、口元は見えないが、目もとが微笑んでいる。 ・家族として、安心して預ける事ができる。	・5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)を継続し、職員への周知を図り、施設内の環境整備を行う。
C. 事業所と地域のかかわり	地域や運営推進会議の意見を取り入れながら、地域行事へ参加していく	・職員は顔をあわせれば、挨拶をしてくれる。気軽に声をかけられる雰囲気がある。 ・家族として、施設の職員さんに困りごとの相談はしやすい。 ・地域のイベント自体が減っているが、年1回の祭りへは、施設として協力できた。	・コロナ禍以降、地域の催しが都市化し、すたれているように感じる。 ・少子高齢化によって、残り少ない催しものも、地域の高齢者がけん引している。 ・地域との関わりは、他の高齢者施設でも難しいと感じており、模索している状況。	・地域行事への参加を継続しながら、新たなイベントへの参加も前向きに検討していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	今年度も、今泉地区以外での出前講座を積極的に行い、地域高齢者を支えていく。	・施設は開放的で、外出機会も多い。利用者を閉じ込めていない。 ・運営推進会議は定期的に行っている、町内会長は、現役のため、仕事で参加できない。 ・利用者も地域の祭りに出向き、参加している。 ・「高齢者支援窓口」は続けており、地域の高齢者の見守り訪問を行っている。	・サービスにつながっていない、地域高齢者の見守り訪問は続けている。 ・認知症カフェや、移動相談を定期的に行っている、地域の高齢者を支えている。	・前年度は出前講座が無かったが、今年度は再開し、地域の方との顔の見える関係作りをしながら、暮らしを支えていく。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議のハイブリット形式での開催を継続する。運営推進会議への参加を検討していく。	・ハイブリット形式で開催している、参加もしやすい。 ・利用者や、新人職員が参加でき、意見交換ができた。	・他の事業所でも、ハイブリット形式が増えた。行政としても問題ない。 ・リモートだと、遠方の家族も参加しやすい。	・運営推進会議のハイブリット形式での開催を続け、職員や利用者の参加を増やし、様々な意見を運営に取り入れていく。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>地域が行っている訓練へ参加できるように取り組んでいく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練へ参加していない ・防災計画を知らない ・運営推進会議で説明を受けているため、施設の防災訓練はしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害は防災計画通りには来ない、実際訓練通りにできないと思う。 ・災害の規模も大きく無っている為不安も大きい ・夜間に大きな災害が来た時に、どう行動すればいいかわからない。 ・地域の防災訓練に利用者が参加する事は難しいが、職員だけでも参加し、地域で誰がキーパーソンか、顔合わせしておくのも必要。 ・地域とのパイプを作ることで安心にもつながる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域が行っている訓練へ参加できるように、取り組んでいく。 ・職員に対し、防災用品の周知徹底を図っていく。
----------------------------	------------------------------------	--	---	--